

せ ん

ぼ 通信 No.37

ば・あ・や・の・う・け・う・り

「戦争犠牲者」

10月23日は、軍艦・愛宕で戦死した伯父(20歳)の命日。子どもの頃聞かされた話は、

- ・志願兵で海軍に。昭和19年10月船が撃沈。
- ・届いた骨箱の中は、名前を書いた紙一枚。
- ・葬式どころではないと、言われて怒った祖父は抗議して村葬をさせた。
- ・その村葬の日、二男の父(18歳)に召集令状。
- ・同じ船に乗ってて、救助された人の話として

何かにしがみつinaながら、「おっかさあーおっかさあー」と叫び、最期…海の中へ。

お彼岸の中日に、中田町のお客さま(92歳)が、終戦の8月15日のことを、話してくれました。

「塩を買いに来たの。一雄さんの新盆だったの。終戦を知ったおシゲ姉(祖母)は、『戦争負けただと。ひとげの息子殺しておいて天皇陛下に文句ゆってやる』と、言ってたの」と。誰にも何も言えなかった時代…特におなごは。ばっばさんの腹の底からの思いだったのですね。スイコさん…72年も前のこと覚えていて、教えてくれて…ありがとうございました。

戦争は絶対イヤです。痛い目にあうのは、エライ人達ではなく…私達ですから。

敬老会の小学生の作文発表
栃山神小学校の1年生…Rちゃん。
6年生の発表が、終わのを待っている間に、ドキドキしてしまいました。
そうだよ…ドキドキだよ。ね。
ステージにでてきたらお人形さんのような目から、涙がボロボロ…
カワイイお顔でシクシク…
ママさんがそばにきて、シクシク
校長先生がそばにきて、シクシク
どうしても涙がとまらず、
ママさんと二人で発表に…。

Rちゃんありがとう

ママさんありがとう

おじいちゃん・おばあちゃんたちは、
ハラハラ…ドキドキしながらも、
「がんばれ…がんばれ…」って、
こころの中で応援していたよ。
ありのままの涙って…ほんとうに
だきしめてあげたかったよ。

栃山神スポーツ民踊の皆さん10人が、おそろいの帽子・シャツの衣装で、敬老会の会場に元気と勇気を。その踊りの曲は…、

「人生チャチャチャ」 青山ひかる
道ばたの花でさえ 泣きたいときがある
踏まれたり つままれたり 涙もでやしない
人生チャチャチャ ゆけゆけチャチャチャ
やなことばかりだけれど
人生チャチャチャ ファイトでチャチャチャ
毎日地球はまわる
大きな夢も ちいさな夢も
あきらめないで ながめないで
そうなんだ 笑顔には愛がある



ヒツジグサ

尾瀬ヶ原

〒963-1245 郡山市田村町栃山神字千穂128 TEL: 024-975-2415 FAX: 024-975-2466

2017・10・1

遠藤商店

編集: ミサ子 mail: kaikuu-0305@ezweb.ne.jp